

小学校 学習活動例 6年 道徳（公正、公平、社会正義）

「“見て見ぬふり” って、どう思う？～アニメ「めぐみ」の視聴を通して～」

1 ねらい

アニメ「めぐみ」を視聴し、拉致被害者家族の心情に思いを巡らせたり、「見て見ぬふり」をする人々の思いを想像したりする活動を通して、苦しい思いをしている人に寄り添おうとする判断力を育てる。

2 関 連

社会科の学習と関連付けることで、拉致問題への関心を高める機会とする。

3 配慮事項

アニメ「めぐみ」の中での横田早紀江さんの言葉「私たちは北朝鮮に住む一般市民の人たちを憎んだり恨んだりしているわけではありません」を紹介するなど、北朝鮮の国民や在日朝鮮人の方々への批判的な見方につながるような新たな差別を生まないよう留意する。

学習活動と発問（◇発問）	指導上の留意点
<p>1 本時の学習のめあてをもつ。 ◇ “見て見ぬふり”と聞いて、どんなことをイメージしますか。 “見て見ぬふり”-あなたはどう思う-</p> <p>2 アニメ「めぐみ」を視聴する。 (1) 署名活動の場面（15分58秒）まで視聴し、“見て見ぬふり”をする通行人の気持ちを考える。 ◇ 横田夫妻は、どんな気持ちで署名を呼び掛けているのでしょうか。 ◇ 通行人の人たちは、どうして“見て見ぬふり”をしているのでしょうか。 ◇ この場面での“見て見ぬふり”について、あなたはどのように思いますか。 (2) アニメ「めぐみ」の続きを最後まで視聴する。 (3) 横田夫妻へ自分の気持ちを綴る。</p> <p>3 見て見ぬふりや他人事になっている問題について考える。 ◇ 身の回りや社会の中に、苦しい思いをしている人はいませんか。その人に対して、あなたは何を大切にしたいと思いますか。</p>	<p>○ “見て見ぬふり”をしたり、されたりしたことを想起させながら、この言葉からイメージしたことを発表させる。</p> <p>○ 「“見て見ぬふり”の場面が出てくること」「その場面についての意見を話し合うために視聴すること」を伝える。</p> <p>○ 何とかしてわが子を助けたいという横田夫妻の気持ちに気付かせる。</p> <p>○ 他人事として捉えている心情を想像させる。</p> <p>○ 苦しみ辛い思いをしている人に対して、「自分だったらどうするか」など、通行人を自分自身に置き換えて考えさせる。</p> <p>○ 横田夫妻の地道で必死な活動が、国や人の心を動かしたことをおさえる。</p> <p>○ 拉致問題が人権侵害であり、生命や安全を脅かす問題であることをおさえる。</p> <p>○ 横田早紀江さんの言葉を紹介し、新たな差別を生まないようにする。</p> <p>○ ヘイトスピーチから生まれる偏見についてふれる。</p> <p>○ 手紙形式で授業を振り返り、相手に自分の気持ちが伝わるよう書かせる。</p> <p>○ 身近なところで見て見ぬふりや他人事になっている問題を人権問題として自分事のように関心をもたせる。</p> <p>○ そうした事例に対し、具体的にできることはなくても、関心をもつことが大切であることに気付かせる。</p>